

令和3年2月1日

保護者の皆さま

社会福祉法人国立保育会
西国分寺保育園
園長 大石 雅一

保護者懇談会資料

園長より

日頃より保育園運営にご協力いただき誠にありがとうございます。

今回の懇談会につきましても新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、保護者の皆さまにはお集まりいただくことは避けて、当日の懇談会で保護者の皆さまにお伝えする予定である内容を書面にてお伝えさせていただきます。

大切なご報告もございますので、最後までお目通しいただきご確認をお願いいたします。何卒よろしく願いいたします。

1. ご報告事項

当日の懇談会で保護者の皆さまにお伝えする予定であった報告事項2点です。

① 新型コロナウイルスについて

国分寺市内のいくつかの保育所でも陽性者が発生している状況となっております。西国分寺保育園としましては、消毒やマスク着用など感染予防に努めてまいりますが、今後も予断を許さない状況は変わりありません。そこで保護者の皆さまへ改めてお願いです。

① お子さま、保護者ご自身、ご家庭内でPCR検査を受ける（受けた）場合。

② お子さま、保護者ご自身、ご家庭内で濃厚接触者がいる（なった）場合。

は、必ず担任、もしくは事務所職員までご報告ください。ご協力よろしく願いいたします。

② 個人面談等の開催について

1月後半から3月にかけて、個人面談が始まっています。コロナ禍における個人面談の開催の仕方についてはいろいろなご意見があるかと存じます。保育園としましては大人同士がなるべく密にならないようなかたちでの開催を検討しております。

今後、新入園児面接や面談についても同様にリモート会議システム（ZOOM）を並行して使っていく事を検討しています。※既にZOOM面談を行っているご家庭もございます。

③ アンケートご協力の御礼

保護者の皆さまにおかれましては、運動会、第三者評価、展覧会などのアンケートにご協力をいただきまして誠にありがとうございます。貴重なご意見を基により良い保育園にするため精進してまいります。皆様から頂いたアンケートで、運動会や展覧会についてのアンケートの結果について、こちらにて掲載しお知らせいたします。

運動会アンケート

・運動会の機会を作って頂いて、本当に感謝しています。保育園最後の運動会を親はもちろん見たかったし、卒園にむけて、子供にも経験させてあげたかった。たくさんの応援と拍手をもらってほしかったのです。組体操になるといつもはふざけてばかりの〇〇も真剣な表情を見せてくれました。

今までがんばってきた事もしっかり成長している事もよくわかりました。これからもコロナで大変だとは思いますが一つ一つの行事を通して小学校生活への自信を育ててほしいです。ありがとうございました。

・悪天候で中止はどうしようもない事態でしたがなんとか開催いただきありがとうございました。リレーの白熱した戦いはとても見応えがありました。走順を相談して決める姿に心打たれました。大人だとアンカーをやってみたいと思っても自分はアンカーの器じゃない、と心に秘めたままで、子ども達は自分の走りたい順番に走り、だれが何番目でも受け入れる姿がステキでした。

・この度は空組の運動会を行う機会を作って下さり誠に有難うございました。保護者の方々の前で組体操やリレーをやっている姿にとっても成長を感じました。子ども達も延期になった中で良くキープして、できたのだと感心していました。

先生方も休日にご対応いただき有難うございました。

・いつもお世話になっております。例年と違う対応をしなくてはならない中で、最大限子ども達の気持ちや意思を尊重して開催して下さいました事、心から感謝の気持ちでいっぱいです。

先生方の日々のご尽力のおかげ様で子供達の一生に残る運動会になったと思います。ありがとうございました。

・2回も天候がわるく延期になった中、年長さんの思い出づくりに開催していただき、本当にありがとうございました。用事と重なってしまい、土曜日が出られなかったのは残念ですが、木曜日に姉と一緒に見に行くことができよかったです。1人1人の得意なことを発表するのが成長を感じられました。卒園まで残り少なくなりましたが、どうぞよろしくおねがいします。

・最後の運動会を開催していただき、本当にありがとうございました。成長した子どもたちの様子を見ることができ、感動しました。コロナ禍でとても大変だったと思いますが、とても工夫されていて1人1人得意なことを行ったり、楽しめました。

天気が読めなかったため、父母とも木曜日参加にしたため、土曜日を見ることができませんでした(父)。もし動画等ダウンロードできたらとてもうれしいです。

・体育館でないことで、天候に左右されてしまい、中止や別な日程となり、仕事の調整は大変な方が多かったと思います。体育館が可能ならそのほうがよいかと。もしくは、予備を2回分用意

方が多かったと思います。体育館が可能ならそのほうがよいかと。もしくは、予備を2回分用意しておくで開催できたかもしれないと思いました。

各クラス入れ替えなどは、コロナに限らず園での開催時にはやりやすいように思いますので、続けていいかと思いました。

- ・子どもたちの発表を見る機会をつくっていただきありがとうございました。

コロナが発生してから、運動会の開催も難しいのでは？とっていましたので、とても感謝しております。

運営について皆様とても配慮いただいておりますので特に要望はありません。密を避ける意味では今後もクラスごとに時間や日をわけることが必要かもしれませんが、職員の皆様の負荷も大きくなってしまいうため引き続き検討なのかと思います。

- ・年長だけでも開催いただきありがとうございます。個人の得意なものを発表するのがとてもよかったです。

- ・最後の運動会の機会を何度も作っていただきありがとうございます。

- ・子供の成長を見せて頂け、とても良かったです。また時間もそら組だけだったので短くて良かったです。

- ・保育園最後の運動会、毎年空組さんの組体操を楽しみにしていました。

今年はコロナの影響もあり空組さんのみの運動会でしたが、保育園最後の運動会に参加し見学できたことがとてもうれしかったです。

保育園の先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

展覧会アンケート

「風組」

- ・はらぺこあおむしの世界が見事に再現されていて、美術館のようでした。風組の子どもたちのえのぐはダイナミックで絵本そのものでした。

〇〇は工作が大好きなので1つ1つ「これはねー、こうやって作ったの！これが〇〇ちゃんので、これが〇〇くんの、これはおねえさんたちが作ったの」と楽しく説明してくれました。積極的に取り組めたようで良かったです。乳児クラスの親御さんたちも、見たかった！という声を聞くので、何かの方法で観覧できたらなあと思います。先生方のご尽力の賜物だと思います。素敵な時間をありがとうございました。

- ・制作中の様子が説明されていたり、その写真が貼ってあったりしたのも良かった。

あおむしやお花の制作は一人一人違って面白かった。

空組はひらがなを描いて、自分の作品を説明したり、制作中の感想を述べたりしているのが良かった。ひらがなの習熟度も個人差があり、面白かった。

年々子どもたちの成長を感じられるイベント。ありがとうございました。

・人数を制限していたので何度も繰り返し見たり、写真をいっぱい撮ったりできました。

絵本の世界がホールいっぱいに表示されていて、絵本の中に入り込んだような気持ちになれました。

来年以降どうなるかわかりませんが、是非今後もやってほしいです。

・頑張って作った作品を見ることが出来て良かったです。作っている様子の写真だけでなく動画があると更に嬉しいです。どんな会話をしながらどんな表情をして作っているのかなどを知りたいと思いました。

・新型コロナウイルス感染症が流行しているなか、色々と検討・工夫して“作品展”として開催いただきありがとうございました。幼児クラスの作品を同時に全体でひとつの作品として見られる機会はないので、楽しませて頂きました。会場も音楽が流れていたり、床から壁、天井まで使われていて、あおむしの世界を存分に楽しむことができました。ありがとうございました。

発表会は“こどもが成長した姿を披露する場”でもあると思うので、制作風景を動画などで見たかった、という気もしました。(展示個所にQRコードを貼りアクセスして視聴する…など)

また、今後は発表会としては開催する方向で検討頂きたいです。子どもにとっても「緊張感のある発表の場」は貴重だと思います。クラス毎完全入替制、人数制限、オンラインでの視聴、発表会ビデオの配布、など実施する方法はたくさんあると思いますので、どうか宜しくお願い致します。

・この度は、感染症の拡大防止に配慮して下さり、作品展という形で子どもたちの共同作業を見せて頂けて本当にありがとうございました。我が子の作品が見られ成長を感じることができ嬉しかったです。又、子どもたちが全員で製作に取り組む過程や真剣な姿を写真で展示してくださっていて感動しました。欲を言えば…それが動画で流れていても良かったかな、と思いました。いずれにせよ、子どもたちが共同作業を経験できたことは、とても有意義であったと感じます。全学年で1つの世界を作り上げている点においても素晴らしいと思いました。先生方のご苦労を思うと、感謝の気持ちでいっぱいです。

「海組」

・全体の世界観が統一された、とても素敵な空間でした。先生方の「子どもたちにせめて何かやってあげたい」という気持ちがこもっているのが伝わってきて、感動しました。また、どの組も、全体的にきれいにまとまっていたことから、先生方の連携したチームワークや努力などを窺い知ることができました(まるで本物の美術館のようでした!)。実際には子どもたちががんばったの

ですが(笑)、子どもがグループの？リーダーをさせてもらったようで自信につながるような体験をさせていただきまして感謝しかありません。いつもの発表会とはちがった素晴らしさだったと思いました。最後になりましたが、緊急事態宣言が出てから一日もコロナに対する不安がなくならない中、保育園で働いてくださり本当にありがとうございます。仕事上、出勤しなければならない(在宅ワークができない)身としましては勝手に同志だと思っています。いろいろな対策を講じられ、できる中で最善のことをやっていたいただいていると考えており、今年の一連のご対応を見てもやっぱり西国分寺保育園最高！だと思っています。

長くなり恐縮ですが、先生方、作品展の企画本当にありがとうございました。お疲れ様でした。

・コロナ禍の中、工夫をこらした作品展を開催して下さりありがとうございました。作品を作っているときから、親子で会話がはずみました。また一生懸命説明してくれる様子を見て発表会とはまた違う視点から成長を感じることができました。

来年は空組さん。最後の発表会は是非見たいです。一日も早くコロナが終息しますように。ありがとうございました。

・世界観が良く表現されており、すばらしかったです。子どももうれしそうに説明してくれました。例年のような演技を見ることができないのは残念でしたが、限られた状況の中で良く考えて下さりありがとうございます。先生方のご苦労がうかがえました。

・今年はコロナの影響で発表会がなかった事は残念でしたが、作品展はとても良かったと思います。

担当した作品の近くに作成時の様子など写真と併せて掲載頂けるとより良かったと思います。スペースの兼ね合いで難しければバインダーなどにまとめて展示物の前に閲覧できる様にしておくなどでも楽しめそうでした。子供たちも色々作成過程を話してくれそうです。

・作品展の楽しみ方が初めてで良く分からず…でもすごく大作でびっくりしました。

「空組」

・みんなで協力して一つの大きな作品を作り上げたという満足感が、案内してくれた息子から伝わってきました。作品もとても素敵で楽しかったです。

・大変すばらしい作品展、企画から準備、制作まで子供達を導いて下さり本当に有難うございます。想像を超える完成度の高さにとってもおどろきました。初年度は色々大変だったと思いますが、子供の成長が見る事が出来、また、子どもも作品を完成する事が出来た事に対し喜びと誇りを持っていたようです。

音楽もあってよかったですね。制作中の写真ですが動画をとって流しておくともっと楽しめると思いました。

・そら組みみんなであれだけ大きな作品をつくりあげたのはとてもおどろきました！またこれだけの達成感をえることができ、子供たちの成長につながったのではないかと感じました。ありがとうございます。1人1人の作品もみんなの個性がでていて素敵でした。ありがとうございます。

・大作ができていて感動しました。写真だけでなく、見ている時間だけでも作っている様子の動画などもあったらステキだなと思いました。発表会は残念でしたが、作品展は今後も続けていってよいのではと思います。

・作品展をおこなっていただき大変よかったです。作品と合わせて作成中の子供の写真ももつと載せて頂けると良いのかと思いました。

・とても素敵な雰囲気を感じました。個々の子どもたちの制作も良かったですし、全体的な企画・構成も良かったです。低年齢児はその年齢でできる表現で貢献していたのも良く考えられていると思いました。はらぺこあおむしの成長が「虹→風→海→空」と成長しているのにリンクしていましたね。 コロナ禍で通常の発表会ができない中で違った表現方法を工夫していただいた先生方に感謝です。

・作品展、準備等ありがとうございました。作品はとても大きくなかなか個人では作れないスケールで、見る側も子供も楽しめました。

又、作っている時の写真も見ることができ、園での様子も知ることができてとても良かったです。又、時間制で密にならずゆっくり見ることができました。

・子ども達が自分達で考えながら楽しみながら友達と協力して大きな作品を作成した事がよくわかりました。発表会はできなくて残念だったけど、とてもいい経験をさせてもらったと思います。

子どももうれしそうに説明してくれました。作成中も家でさなぎを作る話をよくしてくれました。

楽しい作品展をありがとうございました。

以上

貴重なご意見や職員へのメッセージなど、私たち職員の励みとなりました。

お忙しい中ご協力いただき、本当にありがとうございました。

2. 苦情解決制度について

保育園やお子さまのことでお気づきのこと、ご相談したいこと、改善して欲しいことがありましたら、職員へお気軽にお声掛けください。また、保育園内で解決できることは速やかに実施いたしますが、内容によっては第三者委員を含めて解決をしていけるように窓口を設置しています。連絡先は玄関入り口に案内を用意しています。

- ・ご意見、ご要望の受付担当者 主任保育士
- ・ご意見、ご要望の相談解決責任者 園長
- ・第三者委員（2名）高波 辰男さん、吉村 ひろ美さん

《調理室》

西国分寺保育園では、食育を通し、期待する子どもの像として「お腹がすくリズムのもてる子ども」「食べたいもの、好きなものが増える子ども」「一緒に食べたい人がいる子ども」「食事作り、準備に関わる子ども」「食べ物を話題にする子ども」の5つをあげています。

乳幼児期は食べる意欲の基礎をつくり、食の体験を広げ、身体だけでなく心健やかな成長・発達を促す食育活動が大切だと考えています。もちろん活動だけでなく、「今日のごはんおいしかった」「また食べたい」など感じてもらえるような食事づくりを心がけていきます。

● 朝ごはんを食べて登園しましょう

朝食を食べると、脳に栄養がいきわたり、午前中の活動意欲も高まります。その他、腸が刺激され動きが活発になったり、空腹による昼食の早食いがなくなることで肥満の防止にもつながります。

まだ体の小さい子どもたちはたくさんの量の食事を消化し、体内に供給することが難しいため1回1回の食事がとても大切になります。朝ごはんをしっかりと食べましょう。

● 好き嫌いについて

好き嫌いは子どもの成長過程です。今までは食べていたのにも思うことはありませんか？1歳を過ぎると成長に伴い、味や色、そして食べ物の形に敏感になってくるため、今まで食べていたものを好まなくなることもあります。食べ物の形や大きさを変えたり、調理法や味付けを変えるだけで食べられることもありますので工夫してみましょう。

また、同じパターンのくり返しのほうが安心できるため、馴染みのある食べ物を好む「はっきり食べ」も見られますが、これも成長の一過程です。食べ慣れない場合もあるので、強要はせず様子を見てみましょう。

自立心が芽生える頃には、大人が言うことと逆のことをしたがる様子も見られます。食べさせようとするのが嫌がることもありますので、「これ、とてもおいしい！」と言ってポジティブな印象を与えましょう。子どもは大人の真似をしがります。大人がおいしそうに食べているのをくり返し見ること、食べる意欲につながります。

● 食事時間について

食事に集中できるのは10～15分程度です。食べる意欲もなく遊び食べをするようならば、食事に集中できるような声かけをして様子を見ましょう。遅くても30分を目安に食べ終われるように心がけましょう。

遊び食べ防止にはお腹をすかせることも重要です。生活リズムを整え、たくさん体を動かして遊ぶことで、お腹がすくリズムを作りましょう。

子どもが食事に集中できる環境作りに配慮し、会話を楽しみながら食事をしましょう。

食事に関してご質問のある方は、お気軽に調理室までお声かけください。

《保健》

いつもお子さまの健康管理にお心配りいただき、ありがとうございます。
今年度は新型コロナウイルス感染症が流行し、対策や対応に模索した一年でした。
その中でも、保護者の皆さまにはお子さまの体調管理に加えて、登園自粛や感冒症状時の対応など多大なるご理解・ご協力を頂きまして、改めてお礼申し上げます。

【0歳児～4歳児クラスの保護者の皆様へ】

1. お薬の取り扱いについて

保育生活においてお薬は基本お預かりいたしません。医師より園で投薬（内服・軟膏・点眼・坐薬）が必要と判断された場合は、**与薬依頼書**が必要になります。その場合は担任・看護師にお声かけください。

また現在、園に持参薬を預けている方・次年度も継続される方は、**次年度分の与薬依頼書**が必要となります。後日担任よりお渡しいたしますので、期日までにご提出をお願いいたします。

2. 食物アレルギーのあるお子さまをお持ちのご家庭へ

次年度も除去食を継続する場合は、医師に**アレルギー疾患生活管理指導表**を記入して頂き、期日までにご提出をお願いいたします。後日担任よりお渡しいたします。医師の判断で除去食を解除する場合は**アレルギー除去食解除指示書**となりますので、その場合も担任・看護師にお声かけください。

3. 体調管理について

今後もお子さまの体調の変化に伴い、こまめに連絡をさしあげる場合がございます。お預かりしている大切なお子さまの健康を守るためですのでご了承ください。

お子さまの具合が悪い際には、出来る限り早いお迎えをお願いするとともに、緊急時の連絡先は、必ず連絡が取れるようお願いいたします。

また、下記にも述べますように、上気道炎症状（発熱・咳・頭痛・全身倦怠感など）は新型コロナウイルス感染症の疑いを排除できないことから、園での発症・拡大を避けるためにも登園を控えて頂くようお願いいたします。発熱でお休みしているお子さまの登園も同様の理由により、解熱後 24 時間経過してからとなります。ご了承ください。

4. 病後児保育室の利用について

市の規定により、上気道炎症状（発熱・咳・頭痛・全身倦怠感など）があるお子さまは、新型コロナウイルス感染症の疑いを排除できないことから、当面の間、利用することは出来ません。詳細は市のホームページをご参照下さい。

5. 生活習慣について

家庭での生活リズムを整え、保育園でも安心して楽しく過ごし、次年度に繋げられるようご協力をお願いいたします。

- * 早寝、早起きはできていますか？ * 身体の清潔や保湿に心がけていますか？
- * 朝食はしっかり食べていますか？ * 排便はきちんとありますか？
- * 爪は伸びていませんか？

6. 保湿や肌着・衣服について

子どもの皮膚は外気や気温の変化に敏感です。乾燥もしやすく、それにより痒みがでて、皮膚を傷つけてしまいますので、乾燥対策として、入浴後の保湿をお勧めします。

また、肌着は化繊・衣服はモコモコ素材以外のものをお勧めします。これらは熱がこもりやすく、お子さまの発熱を助長させてしまう可能性もあるので、なるべくお控え下さい。子どもの体温は大人より高いため、衣服も大人より薄着であっても構わないとされています。

7. ホクナリンテープなどの鎮咳薬について

身体に医薬品のテープを貼っているお子さまは、必ずお預けする際に保育士にお伝えください。お子さまの健康管理をする上でも大変重要な情報です。ご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。

【5歳児クラスの保護者の皆様へ】

保育園生活も残りわずかとなりました。春の就学に向けて、小学校での生活を意識した関わりが出来たらと思います。

和式トイレについて

和式トイレがある小学校もまだ多く、学校行事の出かけ先などで和式トイレに遭遇してしまうが、和式トイレではなかなか排泄出来ないこともあるようです。

小学校での生活が支障なく過ごせるよう、朝食後、時間に余裕をもって自宅トイレに座り、排泄する習慣をつけていきましょう。

また、就学前に和式トイレでの排泄練習も行えるとよいでしょう。

今後も、世間の動向を踏まえつつ、新たな感染防止策などが生じてくると思われ、引き続き保護者の皆さまにはご協力をお願いすることがあるかと思えます。保育園は集団生活の場であり、子どもたちや職員の健康を守るべく、今後の保育園運営に再度ご理解・ご協力をお願いいたします。

《星組》

食事

離乳食から移行食、幼児食へと変わり、最初は食べ物を口に運んでもらうのを待っていた子ども達も、自分で食べたいという気持ちが出てきています。食具にも興味を持ち、こぼしながらも、自分で食べものをすくって食べる姿も見られています。食事前の手洗いで、4月から「ゴシゴシ、ジャージャー、パッパッパッ」を星組に入る職員全員が揃えて言ってきたこともあり、今では自分で言いながら手を洗う姿も見られています。一緒の机で食べている子や担当保育士と「おいしい!」「カンパニー」等とコミュニケーションを楽しみながら食べる姿も見られています。

睡眠

最初の頃はほとんどの子が抱っこで寝ていましたが、だんだんと自ら布団へ向かって眠る習慣がついてきました。担当保育士が他の子の着替え等をしていると、布団へ行き、「ねんね」と寝転がって保育士を待つ姿も見られています。また、日中活発に動いてたくさん遊ぶことで、しっかりと疲れてまとまった時間眠れるようになってきています。午前睡もなくなってきました。

着脱

星組に入る保育士は皆、ズボンやパンツを履く時は「右、左、上げ上げ」、脱ぐ時は「脱ぎ脱ぎ」と共通した言葉で援助することで、見通しが立つよう接してきました。入園当初は全部保育士に着替えさせてもらっていた子ども達も、足をあげたり履いてみようとしたりと、自分でやりたいという気持ちが出てきたようです。時にこっそり手伝いをしながらも、自分でできた喜びを共感するようにしています。

遊びの様子

入園当初はズリ這いやハイハイ、寝たきりでしたが、一人一人のペースでできることが増えてきました。最初は、積んである積み木を倒して遊んでいた子が、自分で積むようになり、おままごとで食べる真似をしていた子が、上のクラスのキッチンでお料理をすることが気に入っていたりといった姿が見られるようになってきました。活発に動けるようになった分、つかまり立ち、伝い歩きと、どんどん上に興味が出てきて、高い所にも登りだしました。周りの子を見て、まだ一人で歩くことが難しい頃から何度も落ちそうになりながら高い所登りに挑戦。登ったら降りるのも最初は難しかった子ども達ですが、今ではだんだんと後ろ向きに保育士の手伝いなしで降りることができるようになってきています。沢山登るうちに体の使い方を身に付けてきたようです。今では保育士の腰くらいの高さの巧技台にもするすると登っていきます。体の要求に即して安心して遊ぶことで、体の使い方を学び、少しずつうまく体を使えるようになってきています。大人は危ないと思ってしまうような遊びでも、体が求めている遊びを安全な環境の中で繰り返し楽しむことで、多少のことでは怪我をしない体が育っていきます。子どもにとって『必要なだけの援助』を

工夫して行うように心掛けています。

<子どもの自主性を引き出す保育>

今年度一年、子ども達一人一人の成長発達を保障できるようにするには、どうしていけば良いか、考えながら保育をしてきました。

子どもの主体性が育つと、見通しが立ち、自分達で考えたり工夫したりして、自分達の生活を自分達で進めていけるようになります。ついつい大人は、食事は座って食べなさい、危ないから高い所から降りなさい等、ルールが気になってしまいます。しかし失敗することや、周りを見ることで自ら考えたり気を付けたりすることはあっても、強く怒られたことでは、直そうという気持ちよりも怒られたという負の感情ばかりが心に残ってしまうことが多いのではないかと考えました。そこで、きっと成長したらできるようになるだろう、飽きてやらなくなるだろうと、子どもを信じて待つということを取り入れました。待つことは意外と難しいです。それでも否定、禁止はせず、良い行動を伝える。そして、良い行動をできている時を見逃さず、しっかり認めていくことを心掛けています。

保護者の皆さまに回答いただいたアンケートでは、多くの方から自分を出すようになってきたという回答をいただいていた。保育園でも多くの子が自分の気持ちを出し、言葉で伝えられない分、手が出たり玩具を取ってしまったという姿が多く見られるようになってきました。怪我に繋がらないように見守りながら、何かあった時には、やってしまった子を怒ったり、「ごめんね。」を強要したりするのではなく、相手の気持ちを伝えながら、悲しい気持ちになってしまった子の気持ちを「嫌だったね。」等と受け止めるようにしています。そうすることで、やってしまった子は“しまった”と自分で感じている表情を見せたり、頭を撫でて「ごめんね。」の気持ちを表現したりしているような姿が見られます。続けていく中で、怒られるからやらないのではなく、相手の子の気持ちに気付けるように、また、のびのびと楽しく過ごすなかで、一人一人の主体性を伸ばし、同時に友達と一緒に過ごす楽しさも感じる事ができたらいいなと思っています。

<担当制について>

今年はコロナの影響で自粛していただいていたことや、生活リズムが違ったことから、前半は、一人一人の様子に合わせて色々な保育士が関わる事が多い日々でした。その為、しっかりとした担当制を始めたのは秋頃からでした。

担当制をするにあたって、私達はアヒルの親子を意識しています。自力で自分の場所に向かえるようにと願ってかかわっています。いつも同じ保育士が身の回りのことを手伝っていくことで、子どもにとって担当保育士が保育園で一番安心できる存在、困った時に頼られる存在になれるよう、意識してきました。一人で三人の子を見ることで、手伝いすぎることが減り自分で身の回りのことをしようとする事が増えたり、同じ担当の友達を手伝おうとしたり等、新たな発見ができました。子どもが自ら決め、自ら動く姿が増えてきています。個人差はありますが、友達の言葉を真似する等、少しずつ言葉を真似する姿も見られています。

《月組》

○お友達との関わり

・お友達との関わりでは、話すことが楽しい時期で会話しながら遊ぶ姿が見られています。自分の気持ちを言葉や身振りで伝えようとしていますが、上手く表現することが出来ずにお友達を叩いたり押したりしてしまう事があります。その都度保育士が思いに共感や代弁しながら相手の気持ちを伝え「かして」や「いいよ」、「あとで」など子ども同士でやり取りしようとしています。

○虹組になると

- ・月1→虹1、月2→虹2（2歳児クラス）になり、部屋と担任も変わります。
- ・お友達が4名増えて各12名のクラスになります。
- ・1組、2組の各クラスで過ごし、子ども達の様子を見ながら時期を見て進級に向けて2クラス合同保育になります。
- ・靴箱の位置が変わります。
- ・布団の大きさが変わり、シーツの大きさ(縦140cm×横75cm)になります。(詳しくは園のしおりに記載していますのでご確認ください)
- ・布団は園で用意します。(虹～空組まで同じ布団を使用します)
- ・オムツ・おしりふきの保管場所が個人ロッカー内になります。1日の使用分を入れて下さい。

○生活リズムについて

- ・子どもの生活リズムを整えていく上で大切なのは、睡眠、食事、活動の時間を決める事です。大人が声を掛けたり見本を見せたり一緒にやってみて知らせていきます。
- ・その日の体調や個人差で入眠時間は違いますが、夜の睡眠に響かないように15時には起きられるようにしています。前日の夜、寝る時間が遅くなった場合も朝は普段通り起きてリズムがずれないように1日過ごし、その日の夜に十分に休息が摂れるようにしていきます。ご家庭でも、早寝早起きを心掛けて下さい。
- ・食事の時間も睡眠や排泄のリズムに関係してきます。食事の時間がバラバラになってしまうと、間食が増えてしまったり、昼食や夕食の時にお腹が空かなかつたりということになります。
- ・朝食は遅くても8時頃までに食べ終えることで、午前中しっかりと体を動かして遊び、空腹を感じられるようにしていきます。

○食事について

- ・だんだんと好き嫌いが出てきているお子さまもいらっしゃると思います。食べないからと

食材やメニューを出さなくするのではなく、大人が美味しそうに食べている姿を見せる事も大切です。

- ・食べる姿勢などは、毎日繰り返していくことが大切です。園では最後まで座って食べていますが、横を向いたり、足を開いて座っていたりという姿が見られています。その都度声をかけ伝えています。
- ・食事の時間は30分くらいを目安にしています。子どもが集中して食べられる時間を見計らって言葉を掛けて援助していきます。

○食具について

- ・スプーンの持ち方の発達過程としては、上持ち(スプーンを上から握る)→下持ち(人差し指、中指、親指を中心に軽く握る)→3点持ち(手首を動かして食べる)と発達していきます。
- ・手掴みで食べている時には、「スプーン使ってみようか」と誘いかけたり、一口分をすくってあげたりしています。

○お願い

・アレルギーの方もいらっしゃいますので園内で朝食・軽食などの飲食はご遠慮下さい。また、登園の際には、食後に口や手を拭いてから登園して下さい。

○子どもの自主性を引き出す保育

子ども達一人一人が好きな遊びを選べるように発達に合わせて遊びのコーナーを設置したり、興味のあるような玩具をその都度用意しています。保育士が側にいると安心して好きな遊びを楽しんでいる様子があります。

お友だち同士での関わりも増え、「かして」「いいよ」のやり取りが上手に出来るようになってきています。最近では「かして」「まってね」とお友だちに伝えたりする姿も見られています。まだまだ言葉で伝えられずにトラブルになってしまうこともありますが、必ず保育士が間に入り、その場に合った言葉を伝えていきます。

着替えや身支度など、自分でやりたがる姿も見られるようになってきました。子ども達の自分でやってみたいという気持ちを大切にしながら、さりげなく援助し、出来たときは十分に褒めて自信に繋げていきたいと思ひます。

これからも子ども達一人一人の様子に合わせてながら、丁寧に関わり、自主性を伸ばせるように関わっていききたいと思ひます。

《虹組》

○子ども達の様子

友達の輪が広がり、言葉のやり取りも増えてきました。友達同士でごっこ遊びをする姿が増え、自分の経験・体験したことを取り入れながら遊びを楽しんでいます。友達や保育士との会話の中で遊びが展開していくことが、3歳児らしい姿です。また、机上遊びでは、粘土遊びや、カードゲーム、パズルにも挑戦し、集中して遊んでいます。手先が器用になり、想像したものを描いたり、粘土で作ったりと、発想力も豊かになってきています。

友達同士の関わりの中で意見が合わず、言い合いからトラブルになることもあります。トラブルが起きた時には、まずは見守り自分の思いを伝え合う姿も大切にしています。保育士は先に代弁してしまうのではなく「大丈夫。聞いているよ。信じているよ。」という気持ちを持って、子どもと丁寧に関わるようにしています。子ども達が安心して自分の気持ちを伝えられる、自分の気持ちを受け止めてもらえる環境を作っています。

○合同保育が始まりました

進級に向けて1月22日より、1組と2組合同で過ごしています。お部屋の環境も変わりましたが、落ち着いて好きな遊びができる環境を作っています。お部屋が広くなりましたが一人一人が落ち着いて遊ぶ姿が見られています。ままごとコーナーやブロックコーナー、机上遊びコーナーなどコーナーごとに子ども達が自分達で遊びたいものを選択して色々な遊びを楽しんでいます。日中の活動ではお部屋で過ごす子、お散歩、園庭で遊ぶ子、自分で選ぶことで好きな遊びを満足できるまで遊べるようにしています。

今年度の虹組はクラスでの時間をゆっくりと取り、子ども達が少人数で安心して過ごせるようにしてきました。特定の保育士との関わりを増やすことで子ども達と信頼関係を築けるように丁寧に関わっていきました。引き続き、食事や着替え、睡眠は今まで通りの場所で行い、安心して過ごせるようにしています。お部屋に慣れ次第、食事や睡眠も一緒に過ごすようにしていきます。

○食事

食育活動を通して、食材や持ち方に興味を持つ姿が見られるようになりました。自分達で姿勢や三点持ちを意識し、お友達と楽しく食べる様子が見られます。また“一緒に挨拶”する機会も取り入れることで「今日はみんなでいただきますの挨拶したいな」という姿も見られるようになりました。子どもの様子に合わせて机ごとやクラスごとで揃っての挨拶をすることもあります。

進級に向けてエプロンも少しずつ外していき、こぼさずに食べることに意識しています。

※箸への移行について※

保育園では子どもの様子に合わせて、スプーンやフォークと併用しながら取り入れていきます。箸への移行につなげるため、スプーンやフォークの三点持ちがしっかりできるようになることが大切です。この持ち方は、はさみや鉛筆持ちにもつながっていきます。保育園では、日頃から指先を使う遊びを取り入れていきます。

○着脱

衣服、靴下、靴、帽子の着脱、脱いだ洋服を畳むなどの始末にも自分で挑戦しています。まだまだ自分では難しい場合もありますので、園での着替えは着脱しやすいものを選びください。目安としては大人が着せやすい、脱がせやすいものを選びください。洋服のサイズも改めてご確認をお願いいたします。

体温調節がしやすいよう、ヒートテックや長袖の肌着はご遠慮ください。

○排泄

生活習慣の中で最も個人差があります。保育園では活動の合間にトイレに誘っています。①排尿間隔が約2時間あくこと（膀胱に尿がある程度ためられるようになること）②トイレでの排泄に慣れること③尿意が分かってくること この3つがパンツへの移行の目安となります。パンツになってからおもらしをすることもありますが、不快に感じ、排泄があったことを教えてくれることが第一歩です。個人差はありますが、必ずパンツに移行できる時が来るので、子ども一人一人に合わせて関わっていき、長い目で見守っていきます。

※パンツへの移行について※

この時期は寒いため、おもらしすることも多々ありますが、一歩進んだり戻ったりしながら成長していく子ども達なので、できた時には大いに褒め、自信に繋がったり、意欲を持てるようにしていきます。

○風組になると

・毎週火曜日：体育指導

・月2回木曜日：音楽リズム

→どちらの活動も服装は上：白または白っぽい服、下：黒または黒っぽいズボンまたは短パンをご用意ください。動きやすい素材のもので、胸に分かりやすく大きく記名もお願いいたします。

・幼児組になると、上履きを履いての生活になります。

→お子さまのサイズに合った、履きやすい上履きをクラス移動日までにご用意ください。使用の日には決まり次第お知らせいたします。併せて、毎週末、上履き・園庭靴はお持ち帰りになりますので、靴袋のご用意もお願いいたします。

・登園バックがリュックになります。

→お子さまの体に合った大きさの物をご用意ください。遠足にも使用するため、胸にベルトのあるものをおすすめいたします。

・持ち物はすべて個人ロッカーで保管するようになります。

→ロッカーのカゴに着替え2セットを、お着替え袋の中に着替え1セットをリュックの中で保管します(おしりふき、オムツが必要であれば一緒にお入れください)。リュックは、ロッカーの荷物掛けに掛けます。

・連絡帳がなくなり、代わりにお便りケース、連絡ノートを配布いたします。なにか連絡事項がありましたら、連絡ノートに書いてお知らせください。担任が確認いたします。1日の様子は、風組のホワイトボードでお知らせしますので、お迎え時ご確認ください。

・玩具などの保育園に必要なものを持ってこないようご協力お願いいたします。

《風組》

1、生活習慣

身の回りの事を自分で行えるようになってきた子ども達です。一人で出来ることが増え、着脱も最後まで行う姿が見られています。畳んだ服がしまえないなど難しい事があると、「できないからやって」と言葉で伝えられるようにもなりました。出来なかったことを一緒に行ったりし、出来た時にはその姿を言葉にして褒めていき、出来たことへの自信が持てるような援助をしています。また、手洗いうがいの大切さに気付き、なぜ必要なのかを伝えることで自ら行う姿が見られます。

お当番活動では、お手伝いをしたいという気持ちが芽生え、1月頃から取り入れてきました。始めは、みんなの前に出て話す恥ずかしさを感じている様子もありますが、お当番にしかできない活動をする楽しさに気付き、自信を持って取り組む姿が見られています。

2、食事

食事では、友達と食事をする中で楽しさのあまり姿勢が崩れたり大きな声で話している様子があります。その際には、正しい姿勢や食事マナーを繰り返し伝えていきます。今回のアンケートで箸の進め方についての意見がありました。食具を下手持ち→鉛筆持ちという順番で箸に移行していますが、子ども達の個々のペースに合わせて進めています。また、自分の苦手な食材を食べる友達の姿を見て、自分も頑張ってみようと思ったり、二口食べる姿が見られるようになりました。食材の効果や、行事食の時に意味などを知らせると興味を持って食べる姿もあり、完食できることも増えてきています。食器の並べ方も子ども達が気付き、正しい位置に戻したり友達に教えてあげる姿もあります。

3、遊び

進級した頃は保育士を介して遊び姿が多く見られていましたが、今では友達同士で言葉を交わしながら4、5名ほどの小さい集団で遊んでいる様子がみられるようになり子ども達の成長を感じています。また、最近では、カードゲーム、折り紙や鬼ごっこなどの簡単なルールのある遊びに興味を持っている子ども達です。子ども同士でルールを教え合ったり、みんなが楽しく遊べるように工夫したりと子ども達なりに考えている姿があります。その中でも、自我が育ち、仲間との繋がりが深まる中で自己主張をぶつけ合い、時にはトラブルになってしまう事もあります。トラブルの時には、互いの気持ちを受け止め、共感し、気持ちを代弁することで、素直な気持ちを子ども達の言葉で相手に

伝えられるように配慮しています。出来るだけ未然に防ぎ、怪我にならないように関わっています。また、トラブルも子どもにとっては学びです。自分達で解決していけるように、個々に伝えるのと同時にトラブルが起きた時には、どうしたらいいのかクラスワークを通して子どもと一緒に考えています。まだ、相手の気持ちに気づかず、強い口調で言葉を発したり、手が出そうになることもあります。子どもと振り返り、自分がされたらどんな気持ちになるのか、相手の立場になって気持ちに気付ける様に配慮しています。

4、こどもの自主性を引き出す保育について

進級した頃は、活動から活動への切り替えが苦手な子ども達でしたが、今では時計を意識し前もって時間を知らせておくことで、気付いた子どもが声を掛け友達同士教え合っていて、片付けようとする姿が見られるようになりました。時計の周りに絵を貼り、数字が理解できなくてもだれもがわかる環境を作っていますが、気付いてくれた子にも

「ありがとう」の気持ちを伝えることで、周りの子も意識してもらえるよう関わっています。また、子ども達に相談をし一日の活動を決め、実現できるようにクラス全体で協力し自ら考え行動できる環境をつくっています。その中で、実現が出来なかったことがあったり、実現できたけど困ったことが合った時もクラス全体に相談をかけ「なぜそうなったのか」「どうしてなのか」など、みんなで一緒に考える機会をつくっています。

「明日はこうしてみよう」「こうするのはどうかな」など一人一人が出してくれた意見を大切に汲み取りクラスに反映できるように関わっています。

異年齢児交流では自分より大きな子に優しくしてもらうことで憧れの気持ちが持てるように関わっています。残り3カ月弱も年上年下に関わらず交流を増やしていきます。

5、進級について

身の回りの事の後始末(洋服を畳んでしまう、上着を所定の位置に掛けるなど)をより丁寧に行います。出来た時には褒めて自信に繋がられるようにぐちゃぐちゃよりも畳んで綺麗にしてあることの心地よさを伝えます。また、海組になれることの憧れを持っている風組の子ども達。海組を楽しみにしつつ残り少ない風組の生活を楽しんでいきます。進級にむけてご心配なことがありましたらいつでも個人面談を行いますのでお声掛けください。

《海組》

☆生活面

4月より、立つ姿勢、挨拶、片付け、上履きを揃える、まっすぐに整列をする、洋服を畳むといった基本的な生活習慣が身につけられるように子ども達と一緒に取り組んできました。進級してからも小学校へ行ってからもとても大事な基本的な生活習慣ですが、少しずつ意識する子どもが増えてきました。最近では、活動の前の片づけがあっという間に終わり驚かされました。また、午睡前の上履きはいつもきれいに並んでいます。線からはみ出ないようにと友達の分まで並べる子どももいました。現在取り組んでいることは『返事』です。話を聞く姿勢がとても上手になった子ども達。返事というのは相手からの発信に対して、受け取り→投げ返すといったコミュニケーションのはじめの一歩です。保育士がお手本を見せることはもちろんですが、子ども達がきちんと返事が出来るように声を掛け、返事が出来るような場面を作っています。

☆友達との関わり

4歳児は体と同時に『心』も大きく成長する時期です。大人と関わることよりも『友達と関わること』を好みます。共通の話題を語り合い、互いの情報を分かち合いながら友達との会話を楽しむ姿が見られています。「自分はこうしたい」というお互いの主張があるために遊んでいてトラブルになることも多々あります。自分の思いが通らずに悲しい気持ちや悔しさが強くなるため、泣き続けたり手が出てしまう事もあります。また、ルールのあるゲーム遊びを楽しめるようになるのと同時に「相手の事は好きだけど負けるのは嫌」といった複雑な気持ちも生まれることもあります。トラブルが起きた際には、当事者のどちらにも耳を傾けてそれぞれの言い分をまずはしっかりと聞いて受け止めています。聞いてもらえることで気持ちも落ち着き、相手の事も考えられるようになってきたり「ごめんね」と謝ることもできています。出来るだけトラブルはなく過ごしたいものですが、こうした経験から友達と上手に関われるようになっていくと思っています。

☆あそび

一人遊びもしますが、みんなで遊ぶ楽しさが味わえるように集団遊びをたくさん取り入れています。例えルールが分からなくても、保育士や友達とやりながらルールを理解し楽しめています。バナナ鬼、中あてドッチ、ハンカチ落としは子ども達の中で特にヒットしました。戸外で体を動かして遊ぶことも大好きですが、室内でカード遊びや知育の玩具(ゲーム)も夢中になり楽しんでます。折り紙や工作、ブロック遊びでも、手先が器用に動かせるようになってきたことで、より高度な物を作れるようになりました。

☆進級に向けて

①点と点を結ぶ、線を引く、なぞる、字を真似て書くなどのワークを用意し、遊びの一環として楽しく平仮名に触れる機会を提供しています。保育士や友達と一緒に進むと楽しいようで驚くほどの集中力です。また、時間を意識して生活できるように時計の針の位置と一緒に確認したり、次の活動内容や時間をホワイトボードに書いて伝えたりしています。

②子ども達同士で話し合い、物事を決めることや自分の意見を自由に言い出せる機会を取り入れています。自分の気持ちを言い出せない様子の時には保育士が側についてきっかけを作ってあげることで友達に伝えられています。

☆子どもの自主性を引き出す保育

保育園では、子どもの「自分でやってみたい」という気持ちを大切にしています。子ども達と関わる中で、「指示語・命令語・禁止語・否定語を使わない保育」を実践しています。自分で遊びを選択したり、好きな友達と遊びを決めたりして、楽しむ子ども達の姿が見られます。また、普段から子ども達に相談して一緒に考えるようにしています。しかし、全てが自由なのではなく、危険なこと等は相談しつつ、いけないことには「いけない」と伝えています。

【懇談会アンケートまとめ・紹介】

☆成長したと感じること

- ・小さい子に優しく接している。
- ・自分の意見が言えるようになったり、主張できるようになった。
- ・片付けやお手伝いをするようになった。
- ・平仮名やカタカナが読めるようになった。
- ・体力がつき、鉄棒、縄跳び、自転車など様々な運動遊びを楽しめるようになった。

☆進級するにあたり心配なこと

- ・友達との関わりについて
- ・文字の読み書きが出来るようになるのか、または集中力がきれてしまう。
- ・園生活についていけているのか。

※心配なことや質問に関しては面談やお迎え時に個々でお話が出来ればと思っております。

《空組》

1. 基本的な生活習慣

朝の支度や着替えなどの身の回りの事は短時間で済ませることができるようになってきました。時々、他の事に興味が向いてしまったり、雑になってしまったりする際は、そのことに自分で気づけるような言葉かけをしたり、どのようにしたら丁寧にできるのか、などを全体で話し合う機会を重ねてきました。また、毎日の繰り返しの中で、子どもが時計を見て「いつもよりご飯の時間が遅いね(早いね)」などと気付くことが増えました。タイムスケジュールは伝えていますが、“この時間は〇〇をしているとき”と自分で気付くことで、片付けを何分前に行ったら良いかなど、見通しをもって考えようとする姿が見られ、自主的に生活を進めていく習慣が身に付いています。友達の様子に気が付き声を掛ける姿も見られ、集団としての意識が少しずつ育まれているように感じています。友達同士で教え合う姿を見守り、時には気づけるような声掛けを続けていきたいと思っています。

2. 遊び

戸外遊びでは、鬼ごっこ、鉄棒、縄跳び、ドッチボールなど体を動かす遊びを楽しんでいます。保育士も一緒に楽しみ、身体を動かすことの心地よさやルールを守ることの大切さを共感してきました。体育指導で教わったことを遊びの中で繰り返し練習し、新しい技に挑戦することで、目標にむかって取り組む力がついてきたように感じています。

室内遊びでは、折り紙や粘土、廃材を使った工作などを楽しんできました。最近はお店屋さんごっこを楽しみ、友達とどんな素材を使って、何を作るのか、どんなお店にするのか、など相談してイメージを膨らませたり、遊びの中で役割を決めたりして楽しんでいます。

3. 友達との関わり

遊びを通じた関わりの中で、『自分の言葉で友達に思いを伝える』『相手の気持ちや思いを知り受け止める』ことができるようになってきています。成長し関わりが深まってきた中で、相手の様子を見据えて自分の思いを遠慮することや、言葉の使い方によってはトラブルに繋がることもあります。必要に応じて保育士が話を聞いたり一緒に話したりすることもあります。また、時には、ワークを通して“そんな時はどうしたら良いか(どんな言葉を使ったら良いか)”と、出来事の例を元にみんなで考える機会を作っています。繰り返していく中で、困っている友達がいると、話を聞いてくれる姿や遊びに誘う姿、思いやりのある言葉をかけ気持ちに寄り添う姿も同時に見られてきており、自分たちで話し合おうとする力も育っています。引き続き丁寧に関わりの様子を見守っていきたいと思っています。

4. 学びの芽生え

秋から絵日記の取り組みを始めています。最初は保育士が寄り添い一緒に考えながら書くこともありましたが、文字を書くことや文章を作ることに苦手意識があった子も、今では友達に文字を教える姿や、“たのしかった”だけでなく、様々な表現で自分の感じたことを書く姿も見られるようになりました。集中が切れてしまっても途中で諦めることなく、時間をかけても最後まで書き終える姿が見られています。頑張った事を認めつつ、正しい文字や姿勢を伝え、意識しながら前向きに取り組める環境を作っています。

《保育所児童保育要録について》

保育園では、お子さまの就学に際し、就学先となる小学校へ保育要録を送付することになっています。保育要録とは、保育園生活を通してお子さまが育ってきた過程を振り返り、その姿や発達状況を記録したものです。閲覧も可能ですので、希望される方は、担任までにお申し出ください。

《就学に向けて》

- ・ 登園時間から逆算して、身支度や朝食などを済ませるためには、何時に起きたらよいのかということをお子さまと一緒に考えてみてください。お子様ともあらかじめタイムスケジュールを共有し、今からそのリズムで過ごせるとスムーズだと思います。
- ・ 自分の家の住所・電話番号が言えると安心です。（誰にでも言わないように伝えてください）
- ・ “忘れ物をしない” “遅刻をしない” など、最初が肝心です。いずれは自分でできるようになりますが、初めのうちは保護者の方が最終確認をしてあげてください。また、自分の鞆は自分で持つなど持ち物の管理の面でも、できることから自分で行っていく練習を今から始めておくと良いと思います。

☆事前アンケートにご協力頂きまして、ありがとうございました☆

残り二ヵ月の保育の参考にしていきます。その中で、ご回答の多かったものをいくつか、ご紹介させていただきます。

* 4月から今までお子さまが成長したと思うところを教えてください

- ・ 文字の読み書きや絵が上手になった。
- ・ 自分のことは自分でできるようになった。
- ・ 挨拶やお礼が言えるようになった。
- ・ 思いやりや気遣いが見られるようになった。

- ・挑戦しようとすることや練習することができるようになった。

*小学校に向けて心配なことや気になることを教えてください

- ・新しい環境や友達に慣れるか。

→すべての窓口は担任となるので、相談したり、連絡ノートをみて日中の様子を話したりすると色々な話が出来ると思います。小学校生活の中で不安なことや心配なことが出てくると思いますが、休みの日には楽しみを作り心の逃げ道を作ることや、『家に帰れば話を聞いてくれるお父さんお母さんがいる。』という安心感を持たせていただければと思います。園にもいつでも遊びに来てください！

- ・挨拶ができるかどうか。

→小学校は挨拶で始まり、挨拶で終わります。保育園での残りの生活で相手の目を見て話すこと、姿勢を正すことを引き続き取り組んでいきます。